



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。



第53号

平成28年8月1日

発行

公益社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科 4155-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



アルプスあづみの公園 新規開園エリア

再任にあたり

理事長 佐々木 胤明



日も早い復興を願っています。

4月14日未明、熊本・大分両県を中心とした大震災の、犠牲になられた多くの方々のご冥福と、被災された方々、今なお影響を受けている方々に、心から、お見舞いを申し上げます。一

平成28年の定時総会が、5月26日、多くの会員各位の参加により、功労者の表彰と諸議案を、議決承認していただきました。その後、理事会において、引き続き理事長という大役を仰せつかりました。微力ではありますが、諸先輩の方々が築いてこられた、シルバーの理念を、しっかり受け継いで、センター事業のため、取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

27年度は「安全は全てに優先する」「怪我をしない、させない」を合言葉に取り組みましたが、事故は12件発生してしまいました。今年度も、安全・適正就業の深度化をはかり、「重篤事故の防止」を重点目標として取り組んで参ります。

今後とも行政をはじめ、地域の皆さま、会員の皆さまのご支援、ご協力をお願いし、挨拶とします。

平成28年度定時総会開催される

新体制でスタート

当センターの平成28年度定時総会が、5月26日、豊科ふれあいホールで開催されました。総会には、会員120人が出席し、本年度の事業計画や昨年度の収支決算を審議し、承認しました。また、長年会員として、積極的に活動され、シルバー事業発展のため、ご尽力いただいた24人が表彰されました。



総会で表彰された会員の皆さん

平成27年度事業報告では、会員数が前年度と同数の890人、契約金額は、前年比98・3%の5億7525万円でした。また、新規事業として、シルバ

ー派遣事業への、取り組みを開始しました。最重要課題としていた「安全就業」では、事故件数が12件で、ここ数年では、最多となり課題を残しました。

同じく収支決算報告では、各種計算書類や財産目録等について報告され、監事から適正であったとの監査結果が報告されました。なお、監事から、事故が多いので、事故撲滅に向けて、安全就業に取り組んでいただきたいとの補足意見がありました。

平成28年度事業計画では、更なる就業機会の拡大を目指して、広報宣伝活動の強化や会員からの情報提供を積極的に推進していくこと。また、多様な就業形態に応えるため、シルバー派遣事業にも取り組んでいく旨の報告もされました。

役員改選を行い、理事12人、監事2人が選任されました。その後、開催された理事会で理事長には、佐々木胤明氏が再選され、副理事長には、新たに飯沼常雄氏が選任され、新たな体制がスタートしました。

熊本地震災害義援金のお礼とご報告

去る4月14日の発生した「平成28年熊本地震」では、熊本・大分地方を中心に甚大な被害をもたらしました。そこで当センターでは、定時総会の会場において、募金箱を設置し、総会出席者に募金を呼びかけました。お寄せいただいた義援金の総額は1万1077円となりました。会員の皆様の暖かいお気持ちに感謝いたします。お預かりした義援金は、日本赤十字社安曇野市区を通じ、被災地に届けられます。ご協力ありがとうございました。

表彰者一覧

おめでとうございます

平成28年度 定時総会 《表彰者》

会員表彰（77歳以上で、過去5年間に100日以上就労し、センターの事業活動に積極的に寄与した者）

地区名	氏名
豊科	飯嶋 きのへ

豊科	内川 一義
〃	山浦 美恵子
〃	大木 明
穂高	中野 哲也
〃	深石 武雄
〃	大 蔭 誠
〃	桐澤 安廣
三郷	鳥羽 勇二
堀金	吉川 ユキ江
〃	青嶋 久美子
〃	宮田 由子
明科	高橋 ちる子
〃	小林 直丈
〃	嶋田 竹夫
〃	青木 宏友

役員表彰（2期以上にわたり役員として、センター事業の発展に寄与し退任した者）

役職名	氏名
理事	務台 一之
〃	石川 照義
地域班長	佐藤 節雄
〃	宮田 由子
〃	荻久保 岩男
〃	堀内 國夫
安全・適正就業委員	升田 幸雄
〃	西野 剛司

りんご作業講習会開催

摘花（果）等りんご作業技術の向上と作業支援者の拡大を目的にりんご作業講習会が、4月19日と5月9日に開催されました。

両日ともにJAあづみの専門家に講師を依頼し、約40人に参加していただきました。りんご農家の高齢化に伴い作業以来が増える中、作業できる人材が不足しています。

今後は9月に、葉摘み・玉回しの講習会も計画しています。興味をお持ちの方は、シルバー人材センターの事務所72・5800まで連絡をしてください。



摘花の実習に取り組む受講者

副理事長就任にあたり

副理事長 飯沼 常雄

この度の定時総会において、はからずも副理事長という大役を仰せつかり、その責任の重大さを感じているところです。佐々木理事長を補佐し、当センターの発展に力を尽くして参りたいと思っております。会員の皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

さて、高齢者の就業機会の確保を図るために始まった「地域ニーズ対応事業」による「玉ねぎ・野菜栽培」ですが、本年度は補助事業の最終年度にあたるので、3年間の実績を検証し、更なる就業

安曇野玉ねぎ祭りへ参加

初めて収穫体験も実施

第19回安曇野玉ねぎ祭りが、6月18日、19日に市内の豊科・堀金地区で開催されました。当センターでは、昨年に続いて参加しました。今年も、堀金中堀地区の畑で、初めて収穫体験を実施しました。18日は、天気にも恵まれ、多くの家族連れや観光客でにぎわいました。玉ねぎの収穫作業には、多くの会員に参加していただき、就業



収穫を楽しむ家族連れ（堀金中堀の畑）

拡大に繋がりました。今秋には、玉ねぎの苗の植え付け作業を実施します。就業を希望する会員は、事務所まで連絡をお願いします。

理事長 佐々木 胤明 三郷
副理事長 飯沼 常雄 豊科
専務理事 有賀 朝一 豊科
理事 野本 岳洋 豊科

安曇野市長寿社会課長

監事
山田 裕也 豊科
山田 武雄 穂高
小林 義明 穂高
小原 徳治 穂高
那須野 卯久 三郷
広田 万寿美 堀金
浅川 泰通 堀金
嶋崎 紘次 明科
小林 松治 明科

新たに選任された

理事・監事の皆様

任期 平成30年の総会まで



新役員を代表して佐々木理事長の挨拶



黒澤川の講習会場

7月 20日「三郷地域黒澤川右岸」において、J A あづみ農機具センターの職員を講師に草刈機の実技講習会が開催されました。

草刈機の安全な使用について、基本的な説明を受け、黒沢川の右岸で参加者全員が草刈り実技をし、それぞれに問題点等指導を受けました。

昨年 も草刈機による飛石事故が4件発生しています。そのすべてが建物と自動車の窓ガラスを割るものでした。

今回の講習会を機に、もう一度基本を見直し、お互いに声を掛け合うなど、就業には十分注意をお願いいたします。

草刈安全講習会開催

安全・適正就業委員会だより

安全は全てに優先する

6月

10日、第1回安全・適正就業委員会が開催され、平成28年度「安全・適正就業対策推進計画」が決定されました。

重点目標を『重篤事故の撲滅、事故件数の減、及び健康管理』と決定し、徹底した事故防止に努めます。

なお、具体的な取り組みとしては、

- 1 安全ミーティングの完全実施
 - 2 安全装備使用の徹底
 - 3 健康診断受診及び健康体操の奨励
 - 4 交通事故防止
- を徹底し、各人が積極的に取り組みます。

事故

が減りません。平成27年度も、傷害事故5件、交通事故2件、賠償事故5件発生し過去最悪の結果となっています。いずれの事故も少し注意すれば防げるものでした。少しの注意を怠らず就業に努めてください。また今後は、事故検証を徹底して行っていくこととしています。

安全就業講習会開催される

5月

26日、平成28年度定時総会前段に、県シ連、安全・適正就業パトロール指導員浅川千明先生をお招きし「危険予知訓練の導入について」と題して講演をしていただきました。講演から

- ☆危険予知活動とは
どんな危険が潜んでいるか話し合い
 - 危険ポイントについて合意
 - 対策を決める
 - 目標を立てる
 - 一人ひとりが実践
- ☆危険予知活動の目指すもの
- ①危険に対する感受性を高める
 - ②物事への集中力を高める
 - ③問題解決能力を向上させる
 - ④実践への意欲を強める
 - ⑤センターの風土づくり
- 『安全就業』実現に向け、日々注意を怠らず就業をお願いします。

庭木・庭園管理講習を開催 剪定班への加入を期待

県シ

ルバー連合会主催の庭木・庭園管理講習会が、6月9日から8日間の日程で開催されました。今回の講習には、安曇野市・松本市在住者を中心に、定員20人を上回る26人が受講しました。講師には、豊科造園組合の5人をお願いしました。



梯子の建て方を学ぶ受講生

実技

は、明科地区の泉水産試験場や旧明科公民館の周辺樹木で実施しました。1日半は、雨天のため、室内の座学に変更となりました。受講生の皆さんは、熱心に実技・座学に取り組んでいました。受講生のなかから、シル

安全・適正就業委員会 新体制

会員の安全・適正就業と健康に関する事項を協議し、その対策を推進するための安全・適正就業委員会の新体制が決定しました。平成29年度までの2年間の任期です。よろしくお願いします。

役職	氏名	地域
委員長	広田万寿美	堀金
副委員長	田野尻 正	豊科
委員(理事)	山田 詔一	豊科
委員(理事)	竹原 徳治	穂高
委員(理事)	小林 松治	明科
委員	本山 友繁	豊科
委員	原田 興亜	穂高
委員	武田 啓	穂高
委員	橋本 富之	三郷
委員	青柳 重二	堀金
委員	岩垂 俊一	明科
委員(職域)	降幡 昭男	穂高
理事長	佐々木胤明	三郷
理事	飯沼 常雄	豊科
副理事長	赤羽 孝明	事務局

バー会員となって、剪定班に加入してくれる人が出ることを期待します。



旧明科公民館周辺での実習

熱中症・蜂にご注意

熱中症の発生は、8月がピークになります。

●熱中症の予防

- ①こまめに水分・塩分を補給
 - ②通気性の良い、吸湿、速乾の衣服着用
 - ③水、冷たいタオルなどにより、からだを冷やす
 - ④帽子の着用、日陰の利用、こまめな休息
- 熱中症の応急処置
- ①涼しい場所へ避難させる
 - ②衣服をゆるめ、安静に寝かせ

る、からだを冷やす

③水分・塩分を補給する

自力で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を呼びましょう。



*蜂刺されに注意

7月から9月の時期の蜂刺されにご注意ください。

- ①作業現場を確認し、蜂の巣や蜂に近づかないこと
 - ②蜂を刺激するような、黒地の着衣を避けること
- 安全な作業に努めましょう。

蜂取りスプレーは事務局で用意しています。申しつけください。

安全就業全国統一スローガン

見逃すな

ヒヤリで済んだ

あの経験

事務局だより

職員の異動

退職 (3月31日付)

事務局長 務台 一之

三郷地区長 布山 昌徳

異動 (4月1日付)

事務局長 有賀 朝一

総括係長 赤羽 孝明

採用 (4月1日付)

豊科業務担当 松岡 寛

三郷業務担当 鶴見 信一郎

新職員の紹介



松岡 寛

この4月より豊科業務担当として就業させていただきます。

ております松岡と申します。

早いもので3か月が経とうとしています。新しい職場であり内容も理解するに至っていませんが、会員の皆様の希望にこたえられるよう従事したいと思っています。



鶴見信一郎

何かとご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、よろしくお願いたします。

区を担当しています。

三郷地区は、りんご栽培が盛んで5〜6月は大変忙しく、農家の皆さんから非常に多くの依頼をいただきました。

また、りんご作業が一段落した現在は、剪定・草刈り・草取り等の依頼が大変多く、市民の皆さんがいかんシリバーを頼りにしているかを感じています。

しかし、いまだにわからない事も多く、会員や発注者の皆様のご要望に十分お応えできず、ご迷惑をお掛けしていることと思います。

今後は早く仕事を覚え、発注者からの要望に対する的確に対応できるように、また会員の皆様には多くの就業機会が提供できるようにがんばりたいと思いますので、会員の皆様のご指導をお願いいたします。

配分金の振込日

- 7月分は8月19日 (金)
- 8月分は9月20日 (火)
- 9月分は10月20日 (木)
- 10月分は11月18日 (金)
- 11月分は12月20日 (火)
- 12月分は1月20日 (金)

就業報告書の提出 についてのお願い

就業後速やかに、各地区社会福祉協議会様に設置してあります、シリバーメールボックス又は、事務局へ提出をお願いします。

締め切りまでに提出されませんと、配分金が1ヶ月遅れますので宜しくお願いたします。

お悔やみ

山崎 嘉昭様 平成28年1月2日
浅野 辰子様 平成28年1月24日

ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記

◆5月に定時総会が開催され、基本理念である、自主、自立、共働、共助、のスローガンのもとに活動に入りました。本年度もシリバーを取り巻く環境は厳しい状況です。

◆雇用継続制度により、60代の入会員の減少につながる時代となり、今までの「シリバー事業の普及啓発」が重要となります。

◆この状況に立ち向かうには、われわれ全会員が、今迄の経験を中心に、自信に満ちたシリバー活動で、地域コミュニティを活力あるものにして、社会に大いに貢献することが求められています。それには、会員同士の「和」と「助け合い」の精神で前進しましょう。

◆暑さがまだ続く今日、各自、体調管理をして、就業中はもとより自宅を出る時から帰宅する迄、常に「安全は全てに優先する」心構えで、自分の身は自分で守りましょう。

嶋崎紘次、小林義明
那須野卯久、浅川泰通